

## ■ 県民参画の 3 つのアプローチと協働プロジェクト (ひろしま国際貢献「We」プロジェクトのコンセプト)

情報通信技術の発達により、テレビなどのメディアを通して、災害や紛争の悲惨な現場と支援を必要とする人々の映像が、リアルタイムに近い状態で飛び込んでくる時代を私たちは生きています。

これらの映像に心を揺さぶられ、こういった地域の情勢や被災者の支援への強い関心はあるものの、国際貢献活動は専門家などの特別な人だけが行うことと考え、取組める何かのきっかけを身近なところで求めているというのが実情ではないでしょうか。

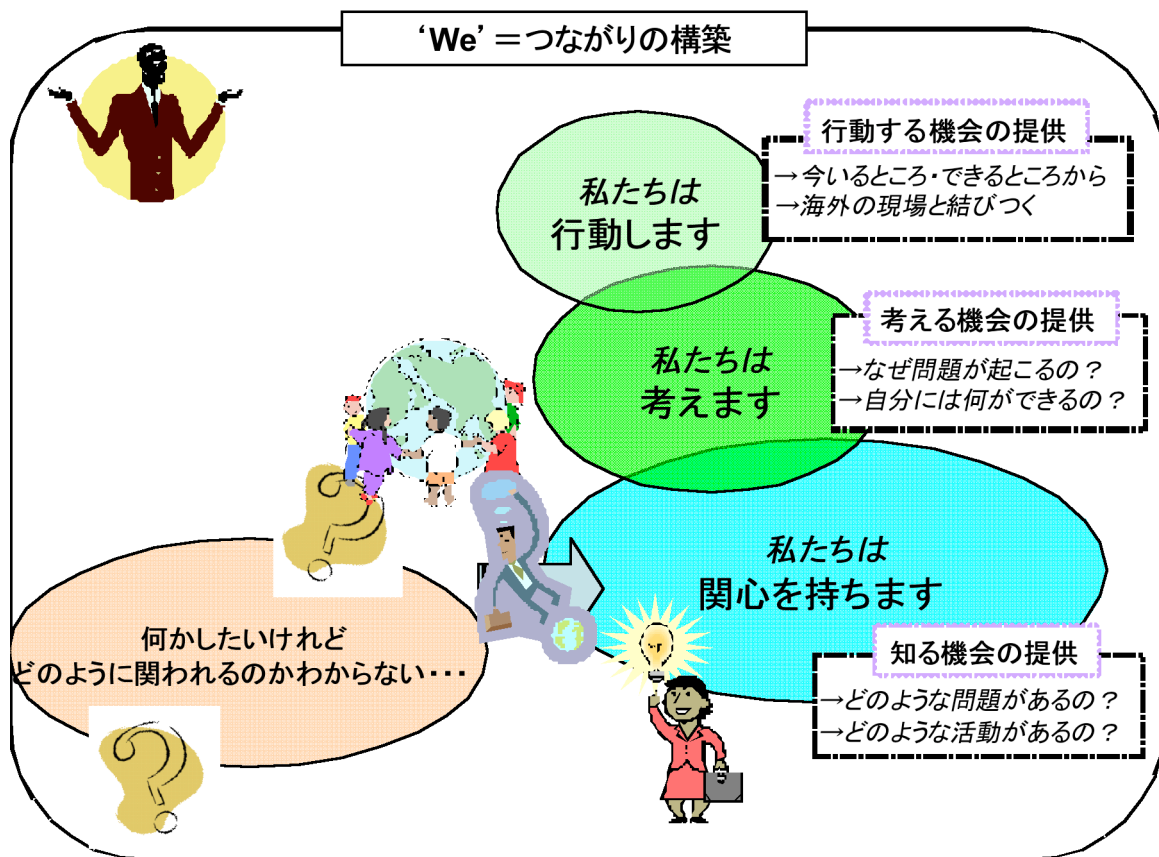
私たちの生活は、エネルギーを始め原材料、食糧の多くを海外からの輸入に頼っています。その供給国には、まさに支援の手を必要としている開発途上国が多く存在します。これらの国々に住む人々との関わりは、本来、私たち一人ひとりの生活の中、地域コミュニティにあるのです。

まずは、「私たちには遠く離れた場所でのこと」、「私たちには難しいこと」というところから一歩踏み出し、私たち自身のこととして関心を持つことが、国際貢献活動の第一歩であると考えます。

私たちが生活している地域コミュニティからつながっていく国際貢献活動を 3 つのアプローチとして捉え、県民等の主体的な参画を促進するプロジェクトをひろしま国際貢献「We」プロジェクトと名付け実施します。

まずは、国際貢献を身近に感じることから始めてみませんか。

### 県民参画の 3 つのアプローチと協働プロジェクトの考え方



#### ◇ 私たちは関心を持ちます

私たちの地域コミュニティにおける生活とは遠くかけ離れた話、と感じていた世界で起こるさまざまな事象を、私たちの生活と関係のあることという視点で見ることが、私たちを国際貢献へとつなげていく最初の窓口となります。この窓口を多くの人に開くことができるよう、地域や海外のさまざまな実践例を紹介し、きっかけ作りをします。

#### ◇ 私たちは考えます

紛争や貧困といった世界で起こるさまざまな事象の背景や原因、それらを解決したり人々を支援したりする実際の活動はどのようなものなのか、そして私たち一人ひとりができることはどのようなことなのか—よりわかりやすい活きた情報を提供し、一人ひとりが考えることができる環境を整えます。

#### ◇ 私たちは行動します

私たちは地域コミュニティの中でさまざまな社会との関係性の中で生活しています。大人・子どもとして、企業として、学生として、主婦として、会社員として、何かの専門家として……。それぞれが今いるところから、できるところから、さまざまなカタチで行動することができるように、バラエティに富んだプログラムを用意します。たとえば周りの人に伝えていくことも行動のひとつ。伝え合うことを可能にするツールを多く用意します。また、企業や専門家として、それぞれの得意分野で貢献できるよう、その環境を整えます。

## ■ひろしま国際貢献「We」プロジェクトの実施プログラム(案)

ひろしま国際貢献「We」プロジェクトでは、地域の企業、学校、地域コミュニティ団体、そして住民一人ひとりの声に耳を傾け、その思いに応え、つながっていく取組みを具体化していきます。

### アプローチ1：私たちは関心を持ちます

<b>賛同NGO等団体紹介レポート</b>
賛同するNGO・国際機関等に関する、団体概要・国内外での活動状況・地域で関わるメニュー紹介等の基本情報を、県民等の関わりの視点で提供していく。
<b>賛同NGO等現地特派員レポート</b>
文化や習慣の紹介も含む現地の状況・活動紹介を現地活動者の視点で、提供していく。
<b>学校、企業、社教団体等国際貢献活動レポート</b>
学校、企業、社会教育団体が地域で取り組んでいる国際貢献に関わる活動についてスポットを当て、地域実践の事例として提供していく。
<b>広島復興過程再確認レポート</b>
第2次世界大戦の敗戦後の灰燼から立ち上り、平和のシンボルとして世界に今もメッセージを伝え続ける広島の戦後復興過程を理解し、世界各地からの多くの支えの上に今があることを再確認する情報を提供していく。
<b>県民活動体験レポート(国際貢献の窓)</b>
県民にアピールする3つのアプローチに沿って、参画者の、思い、気づき、更なる活動ニーズ等にスポットを当て、地域の県民の具体的な声として提供していく。

## アプローチ2：私たちは考えます

<b>教育・社会教育連携促進事業(普及/教育資料作成)</b>
学校教育への普及を図る観点から、①広島県の平和貢献構想の紹介、②国際貢献活動の状況、③国際キャリア形成等の視点で構成するリーフレットを作成し、生徒、保護者等へ提供していく。 (対象：県内中高校生徒、保護者等)
<b>親子で考える国際貢献Q&amp;A</b>
Q&A形式で具体的な国際貢献に関する疑問(食料問題、難民問題等々)に回答する内容で、大学等と連携しつつ、国際機関、NGO等の実践的な課題解決の取り組みを反映した資料として、提供していく。
<b>高校・大学参画促進事業(出前講座)の実施</b>
賛同NGOの協力により、高校、大学の既存の授業等と連携し、自ら国際貢献を考えるきっかけづくりとなる出前講座を開講する。 (計30校)
<b>スタディーツアー等の企画実施</b>
賛同するNGO等が行う既存の被災地視察、インターン派遣等の参画機会の情報を取りまとめ、周知するとともに、これらの事業形成に県民の声を反映したスタディーツアー等を企画実施し、主体的に考えるきっかけとなる機会を提供していく。 (当面は、賛同NGOの現地視察等の実施情報を提供していく。)

## アプローチ3：私たちは行動します

<b>HICN-WEBによる活動情報の発信</b>
HICNの取組み全般を、JPFのサイト内に立上げ、多様な情報を集約したポータルサイトとして、活動情報を一括で発信し、更なる県民等の参画促進に結び付ける。
<b>メーリングリスト「We」の運営</b>
地域国際貢献に関わる県民等多様な人々が、色々なテーマで意見を伝え合い、共通の理解を得るための参画者ネットワークを立上げ、多くの人たちと共感できる機会を提供していく。
<b>地域参画促進リーダーの任命</b>
HICNに参画するアクティブ・メンバーの中から、広報、参画促進活動等を自らの主体的な活動として行動していこうとする者について、地域参画促進リーダーに任命し、必要に応じて、取り組みのサポート等を行う。
<b>HICNメンバー参画メッセージ</b>
ネットワーク運営趣旨に賛同しHICNに参画したメンバーが、自団体の活動と地域での国際貢献がどのような関わりを持つのか、それが地域にどのような影響を与えていくのかを自らのメッセージとして、提供していく。
<b>地域国際貢献紹介レポーター</b>
HICNに参画するアクティブ・メンバーから、レポーターを募集・登録し、随時の要請により、地域でできる国際貢献活動として、配信記事等の作成等に主体的に関わる機会を提供していく。
<b>県民・NGO参画促進事業(NGO人材養成講座)の実施</b>
主体的な活動意欲を持つ県民、NGO職員等を対象に、賛同NGOの持つ運営ノウハウ、海外支援活動等の実施ノウハウ等の活動の基礎となる実践情報を修得する機会を提供していく。 (一部大学共催企画とする。)
<b>県内NGO職員等海外実務研修制度(NGO連携)</b>
上記講座参画者、県内NGOの職員等で、海外支援活動に意欲があり当該分野での長期的な活動が見込める者等について、大手NGOとの連携により、海外支援地での実践的な研修へ派遣する。
<b>プロジェクト・モニタリング、評価ミッション専門家派遣(大学連携)</b>
短期派遣形式をとるプロジェクト・モニタリング、評価ミッション等に対して、大学等の教育機関の人材を積極的に活用し、プロジェクト成果を高めるとともに、当該派遣者による地域周知活動等を実施することにより、一層の参画者の獲得につなげる。
<b>緊急支援物資輸送プロジェクト(企業連携)</b>

企業等の社会貢献活動として、本業を活かした取り組みとして、緊急災害等発生時に現地支援ニーズに基づく支援物資を取りまとめ、賛同NGOによる現地支援活動に繋げていく。  
(当面は、県民からの小規模拠出の受付はしない。)

**社会教育団体等参画促進プログラム開発**

社会教育団体等が地域で取組む国際貢献活動と連携し、県民が身近で取組める活動をひろしま発の国際貢献活動へつなげていくプログラムを開発・提供する。

**企業社会貢献連携事業（タイアップ商品の提供等）**

企業の社会貢献活動として、本業を活かした取り組みと連携し、県民が身近で取組める活動を国際貢献へ繋げて行くプログラムを開発・提供する。

\* HICN=Hiroshima International Contribution Network：ひろしま国際貢献ネットワーク

